

訪日・在日外国人向け 多言語フリーマガジン『att.JAPAN』創刊 20 周年記念

日本語版『あっと！日本^{ニッポン}』を創刊

株式会社ファイネックス(本社：東京都新宿区、代表取締役：桑原 信彦、 <https://finex.co.jp>)は、昨今のコロナ禍による国内の近場旅や日帰り旅行のニーズの高まりを受け、日本の人々に日本の魅力を再発見していただきたいという思いで、日本語で観光情報を発信する『あっと！日本(ニッポン)』を 2021 年 9 月 10 日に創刊いたしました。

日本の観光情報を発信するインバウンドメディア『att.JAPAN(アットジャパン)』(編集長：高橋 歩美)を 2001 年に創刊し、以来 20 年、日本のインバウンド市場を盛り上げてきました。

20 年に亘って外国人に向けて日本の魅力を発信してきましたが、一方で、外国人によって日本の魅力を再認識する機会も多々ありました。日本には、日本人自身が気づいていない地域ごとの魅力がまだまだたくさんあります。

この度創刊した『あっと！日本』では、外国人の多様な興味関心に寄り添って培った細やかな取材力を活かし、日本の定番観光スポットからローカルな街歩きまで、一冊で日本の魅力を幅広く紹介しています。

■『att.JAPAN』ISSUE94 / 『あっと！日本』Vol. 1 概要

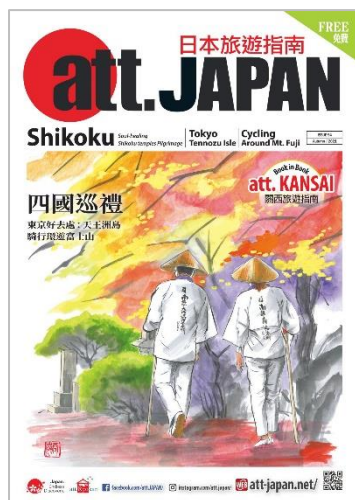
★1冊で多言語・日本語が読めるリバーシブルタイプの体裁です

表面 (左開き)

裏面 (右開き)

多言語版 (英語・中国語繁体字)

日本語版



特集内容 (抜粋)

・四国特集

はじめてのお遍路入門！

四国のお遍路おすすめスポットをご紹介します

・天王洲・品川特集

大注目の東京のアートエリアでの半日旅コース

・トレンド文房具特集

文具専門店や自分だけのカスタマイズ文具がたくさん！

リバーシブルタイプで、1冊で3言語を掲載しています。

日本語⇄英語・中国語の学習にもお役立ていただけます。

★20周年&創刊記念キャンペーンも実施！（詳細は下記参照）



四国特集 (多言語版)



四国特集 (日本語版)

・マレーシア出身インフルエンサーが行く、滋賀・新発見



Instagram のフォロワー30 万人超え、47 都道府県訪問を制覇したチージーさんが、琵琶湖北東～北西でフォトジェニックを探す旅。

左側にチージーさんのレポート記事、右側にその日本語訳を掲載。南国マレーシア出身のチージーさんならではの目線での楽しみ方を、日本の皆さんにもご紹介します。

全国の観光案内所や空港、ホテルなどで配布しているほか、デジタルブックでもご覧いただけます。

・日本語版『あっと！日本』Vol.1

<https://att-japan.net/bookdata/att.NIPPON-01/>

・多言語版『att.JAPAN』ISSUE 94

<https://att-japan.net/bookdata/att.JAPAN-94/>

■外国人が発見した日本の魅力を、日本の方にも

創刊以来、インバウンド市場を取り巻く環境は大きく変わり、2019 年には過去最多となる 3,188 万人以上の外国人が日本を訪れました。『att.JAPAN』の読者アンケートの結果や実際に読者の方々との交流を通して見ると、外国人旅行者は実に様々な日本の魅力にひかれ、全国各地の情報を収集しています。

たとえば山口県長門市の「元乃隅神社」は、2017 年 9 月 10 日発行の『att.JAPAN』ISSUE 81 の山口県特集で取り上げ、表紙も飾ったスポットです。この地が 2015 年に米国 CNN の「Japan's 31 Most Beautiful Places（日本の最も美しい場所 31 選）」に選ばれたことを契機に、2005 年～2015 年は年間約 110～120 万人で推移していた同市の観光客数は、2016 年に約 150 万人、2017 年には約 215 万人と右肩上がりに。

取材当時の 2017 年 3 月は、現地では外国人観光客が 2、3 組いる程度でしたが、日本海に向かって連なる 123 基の赤い鳥居と木々、断崖と波しぶきという組み合わせは、日本らしいと人気になるのも納得の風景でした。表紙にも採用したところ、東京のホテルや観光案内所などでも外国人旅行者から「この場所への行き方は？」との質問が多数ありました。

外国人旅行者が訪れるようになったことで日本人への認知度も上がり、駐車場やトイレ、特産品の販売施設などが整備され、来場者の利便性も上がるようになりました。この元乃隅神社の事例のように、外国人によって日本人にも再認識されるスポットは全国にまだまだあるでしょう。



『att.JAPAN』ISSUE 81 2017 年 9 月 10 日発行

今回の日本語版では、台湾・香港現地で発行している『att.JAPAN』繁体字版（2021年6月発行）で人気の高かった「東京散歩・西武池袋線沿線 練馬さんぽ」や「東北ローカル鉄道4選」を、日本語版のために再編集して掲載しています。公園や商店街、地方ならではの田畑などの素朴な風景は、外国人、特に訪日リピーターに人気の高いコンテンツですが、日本人にも日常的な風景の中に、新たな魅力を発見していただけるのではと考えています。その発見の楽しさを感じていただきたいという思いで、「あっ！」という感嘆詞と『att.JAPAN（アットジャパン）』をかけて『あっと！日本（ニッポン）』と命名いたしました。



東京散歩・西武池袋線沿線 練馬さんぽ



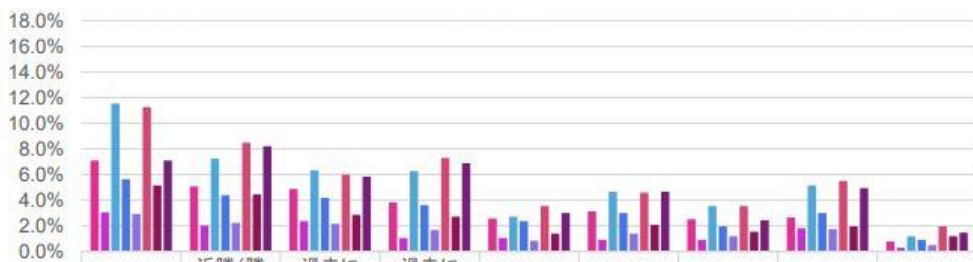
東北ローカル鉄道4選

■日本人は近場旅志向。外国人はアフターコロナの訪日旅行を熱望、在日外国人も見逃せないマーケット

調査によると、日本人による旅行先の距離についての意欲は、2022年の春まで「県内または近隣県への旅行」が、2022年の夏以降は「近隣（隣接）県よりも遠い地域への旅行」が比較的高い傾向であり、まずは近場の旅行から再開するだろうと言われています。また、過去の訪問経験の有無に関しては、2021年の年末年始までは「過去に行ったことのある地域への旅行」が優勢ですが、2022年の春以降（GW除く）は「過去に行ったことのない地域への旅行」への意欲が優勢になっています。このことから、自分の身近で新たな旅先や楽しみ方を探している日本人は多くいると考えられます。

Q.国内宿泊旅行について、今後旅行意向のある方にお聞きします。どのような旅行に行きたいと思えますか。時期別にお答えください。（いくつでも）（国内宿泊旅行意向者/複数回答）

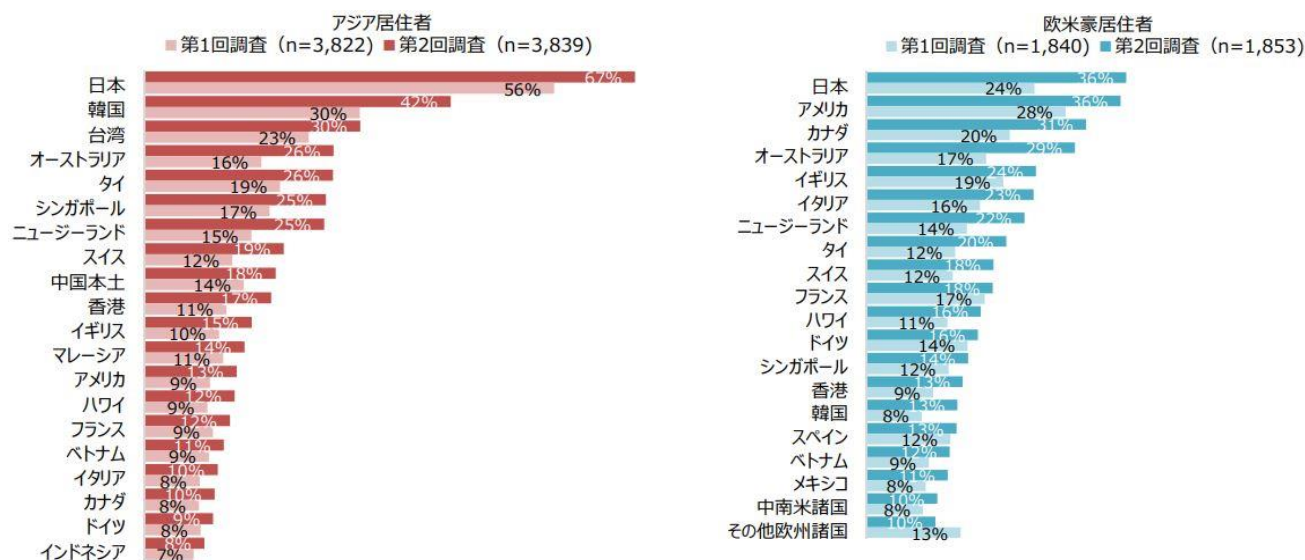
※「県内または近隣県への旅行」は、「居住地の都道府県内の旅行」「居住都道府県の近隣（隣接）県への旅行」の選択肢のいずれかまたは両方を選択したものの割合。



	県内または近隣県への旅行	近隣（隣接）県よりも遠い地域への旅行	過去に行ったことのある地域への旅行	過去に行ったことのない地域への旅行	過去に泊まったことのある宿泊	過去に泊まったことのない宿泊	感染者の少ない旅行先	地方部	都市部
■2021年 夏(6月～8月) お盆の時期を除く	7.1%	5.1%	4.9%	3.8%	2.6%	3.1%	2.5%	2.6%	0.8%
■2021年 お盆の時期	3.1%	2.0%	2.4%	1.0%	1.0%	0.9%	0.9%	1.8%	0.3%
■2021年 秋(9月～11月)	11.5%	7.2%	6.3%	6.3%	2.7%	4.7%	3.5%	5.1%	1.2%
■2021年～2022年 冬(2021年12月～2022年2月) 年末年始を除く	5.6%	4.4%	4.2%	3.6%	2.4%	3.0%	1.9%	3.0%	0.9%
■2021年～2022年 年末年始	2.9%	2.2%	2.2%	1.7%	0.8%	1.4%	1.2%	1.7%	0.5%
■2022年 春(3月～5月) GW除く	11.3%	8.5%	6.0%	7.3%	3.5%	4.6%	3.5%	5.5%	1.9%
■2022年 GW	5.1%	4.5%	2.9%	2.7%	1.4%	2.1%	1.5%	1.9%	1.2%
■2022年 夏以降(2022年6月以降)	7.1%	8.2%	5.8%	6.9%	3.0%	4.7%	2.4%	4.9%	1.5%

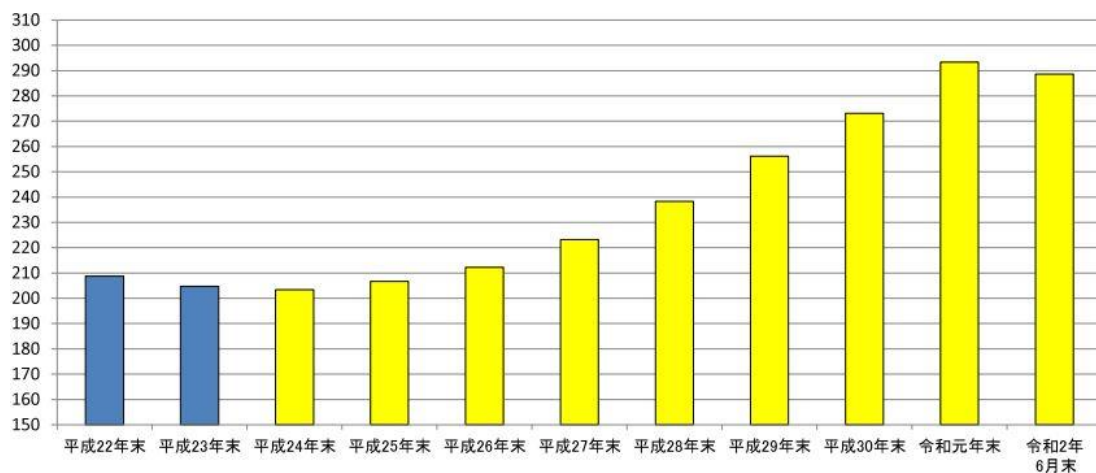
【グラフ】 出典：じゃらんリサーチセンター 第7回新型コロナウイルス感染症の旅行市場への影響（2021年8月）

また、インバウンド市場では、アジア、欧米豪の調査で、コロナ収束後に行きたい国・地域としてともに日本が1位となっており、世界には訪日旅行を熱望する外国人が多くいます。

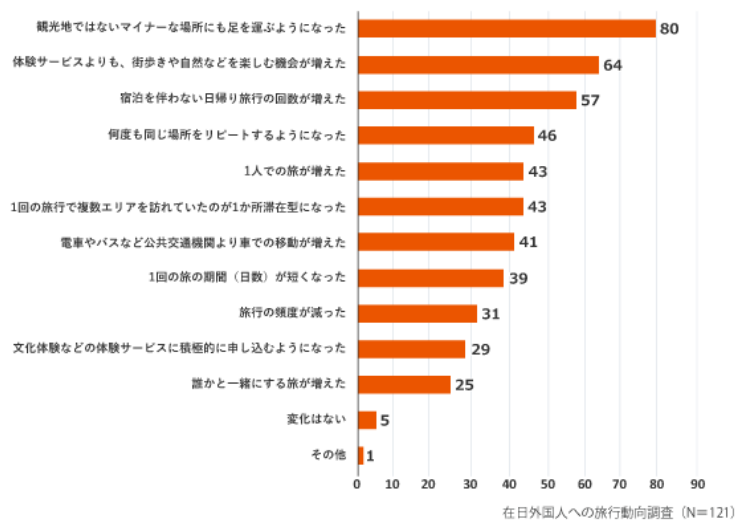


【グラフ】 出典：DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査（2021年5月）

さらに、在日外国人についても見逃せないマーケットであり、現在日本に在留している外国人は2020年6月末時点で288万5,904人です。昨年までは増加傾向にあり、コロナ収束後も伸びていくであろうと予想されます。



【グラフ】 出典：出入国在留管理庁（2020年10月）



【グラフ】 出典：やまごころ 日本に住んで以降の旅行スタイルの変化（2021年8月）

さらに！

『att.JAPAN』創刊 20 周年＆『あっと！日本』創刊記念キャンペーンを実施！

日本旅遊指南
att.JAPAN
20周年

あっと！日本
新創刊

記念キャンペーン

My Japan Stories

マイジャパン・ストーリーズ

あなたの好きな「日本」をSNSに投稿しよう！

**47都道府県の名産品・特産品を
抽選で47名様にプレゼント！**

■ My Japan Stories キャンペーン概要

『att.JAPAN』創刊 20 周年＆『あっと！日本』新創刊を記念して、読者の方々に向けて感謝の気持ちを込めたキャンペーンを実施します。Instagram または Facebook で日本に関する写真・動画を投稿いただいた方の中から、抽選で 47 名様に、47 都道府県の名産品・特産品をプレゼントする企画です。



※掲載している賞品は一部です。変更になる場合がありますのでご了承ください。

キャンペーン詳細は以下の二次元コード、または以下の URL からご確認ください。



<https://att-japan.net/archives/13601>

～【無料！】日本全国のエリア・観光コンテンツを att.JAPAN Facebook でご紹介！～

Facebook 投稿キャンペーン実施中！

世界約 50 か国の日本好き・旅行好きのフォロワーをもつ att.JAPAN Facebook で、全国自治体様のもつ観光コンテンツの発信をしませんか？2000 年から世界に向けて日本全国の情報発信をしてきた att.JAPAN の編集チームがライティングから発信までを担当します。「コンテンツはたくさんあるけど、発信するプラットフォームがない…」、「SNS の発信はしているけど、なかなかリーチしない」など、お悩みをお気軽にご相談ください。

発信メディア：att.JAPAN Facebook (<https://www.facebook.com/att.JAPAN>)

言語：日本語、英語、中国語（繁体字）の 3 言語併記

投稿回数：1 回

費用：無料

発信までの流れ：

①コンテンツの選定 ②多言語ライティング ③画像収集 ④投稿

(投稿スケジュールは弊社で調整させていただきます。)

『att.JAPAN』とは

訪日外国人・日本人が日本を知る、旅する、遊ぶ、買い物をするための情報を届けるフリーマガジンです。

創刊：2001 年 4 月

発行部数：毎号 180,000 部

言語：英語・繁体字+日本語（2021 年 9 月発行号）

発行サイクル：季刊（3・6・9・12 月 10 日）

※新型コロナウイルスの影響で発行日が変更になる場合がございます

配布ポイント：全国 1,800 ヶ所（観光案内所、公共交通機関、書店、教育機関、飲食店、宿泊施設など）、海外主要 50 都市

◎無料で配架致します。ご希望の方は下記問い合わせ先にご連絡ください。

■株式会社ファイネックス 概要

会社名：株式会社ファイネックス

所在地：〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町 4-40 光丘四谷ビル 6F

代表者：代表取締役社長 桑原 信彦

TEL：03-6384-1471

事業内容：多言語インバウンドメディアの編集・発行・配信

多言語ウェブサイト、SNS コンテンツの制作・配信・運営

多言語ツール類の制作

翻訳 など

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社ファイネックス

担当：事業企画部 山内 英恵

URL：<https://finex.co.jp> <https://att-japan.net/>

TEL：03-6384-1471

FAX：03-6384-1472

MAIL：yamauchi@finex.co.jp